

光明寺だより

第103号
浄土真宗本願寺派
光明寺

〒793-0030 西条市大町550
TEL 0897-53-4583



心に残る詩

こういふも

奈良 森井郁郎 75



手術して

声をなくしました

ご挨拶やお愛想を

言えなくなりましたね

辛いことですわ！

でもね

いいことも

ありましたよ！

人の悪口や汚い言葉も

言えなくなりました

何よりみんな親切で

人の優しさが

よく分かりました

産経新聞「朝の詩」より

彼岸会法座

3月19日(木)

★おつとめ 1時半

★おはなし 2時

【講師】 大阪教区・法栄寺

小林顯英先生

一口法話



雨の日も風の日も

わかりやすい解説で定評のある宗教評論家に、ひろさちやさんという方がおられます。氏は著書の中で、仏さまにお参りするのに「請求書参り」と「領収書参り」の2種類があると仰っています。

「請求書参り」とは、仏さまに、「〇〇して下さい・・・」と請求書を添えてお参りするものです。

その請求書の内訳と云えば、

「目指す大学に合格させて下さい・・・」

「商売繁盛させて下さい・・・」

「病気を治して下さい・・・」

「長生きさせて下さい・・・」等々

どれもこれも自分の都合の良いことばかりが書かれています。これらはつきつめればすべて自分の欲望です。つまり「請求書参り」とは自分の欲を満たすために仏さまを利用するお参りということになります。しかも残念なことに、「あなたの願いをかなえてあげましょう」と、人間の都合のよい欲に迎合する神社仏閣

が実に多いのです。いわゆるこれが「利益宗教」と呼ばれるものです。

またもう一つの「領収書参り」とはどんなお参りかというと、仏さまに「おかげさまで、ありがとうございます」と、感謝という領収書を添えてお参りすることです。

一般的には、「請求書参り」がほとんどだと思いますがどうか。はたして「請求書参り」は理にかなっているでしょうか、よく考えてみてください。

というのも、人間生きておれば、良い時（順境）もあれば悪い時（逆境）もあります。言ってみれば、晴れの日もあれば雨や風の日もあるのです。もちろん嵐に出会うことだってあります。

願い事をかなえて下さい（請求書参り）というのは、雨や風の日をなくして晴れの日だけにして下さいと言っていることと同じです。

もし仮に、願い事が叶えられたとしても、すなわち晴れの日がやってきたとしても、そんな日がずっと続くわけがありません、必ず雨の日や風の日がやってきます。

一つ問題が解決したと思えば、また一

つ、それが私たちの人生です。

ですから、目先の晴れの日だけを願って、一喜一憂するような人生からは、決して真の安らぎは生まれてきません。それより何より、そんな人間の都合の良い願いをかなえてくれる仏さまなどはいらつしやいません。

そうしますと、雨の日や風の日をなくして下さいとお願いするよりも、雨の日であっても風の日であっても、それをしっかりと受け止めてその中でいかに精一杯生きていけるか、そんな生き方を目指す方がよっぽど理にかなっています。お念仏の教えはそのような生き方を説いているのです。

私達の人生は決して他人から与えられるものではありません。自らが選び取って自らの意思で歩んでいます。

今、直面している出来事（果）は、自らが知らず知らずのうちに作ったタネ（因・縁）が熟したことによるものです。

つまり、いかなることが我が身に起ころうとも、その一切を引き受けていかねばならないのです。

そうしてその道理に心の底から納得し、「ああそうだった、自分の荷は自分

で背負っていく以外なかったのだ」と、その荷を背負って力一杯生きていける身になる、それが親鸞聖人の仰る念仏者の生き方です。

浄土真宗の僧侶であり教育者でもあった東井義雄先生は、

苦しみも悲しみも自分の荷は

自分で背負って歩きぬかせてもらおう
私の人生だから

と仰っています。私の人生だからこそ、辛いことも苦しいことも私がお受けする以外ないと仰っているのです。また、

雨がふってもブツブツ言うまい

雨の日には雨の日の生き方がある

雨の日を嫌うのではなく、「雨のおかげでこんな良い一日にさせていただきまし
た」と、雨の日を恵みと頂いていく。念
仏者の人生の豊かさというものを感じま
す。

また小説『親鸞』を書かれた吉川栄治
氏は娘さんが結婚される時に、次の言葉
を贈られました。

我以外、みな、我が師なり

《娘よ、これからの人生、色んな人に
出会うだろうが、皆、お前を教え育てて
下さる人生の師として仰いでいきなさい
》と仰っているのです。

自分以外のすべての人を師と仰いでい
く。親鸞聖人のお心をよく学ばれた方の
言葉だと思えます。

こうして自らの人生を力一杯歩み続け
る者に、阿弥陀さまは、次のように称え
て下さいます。

仏言広大勝解者 是人名芬陀利華

《何と見事に人生の難問題を解決する
者よのー。まるで泥沼に根をおろしなが
ら泥沼とは似ても似つかない美しい花を
咲かす蓮の花のようではないか》と賞賛
して下さいます。

そうして阿弥陀さまは、「あなたの人
生に何が起ころうとも、私が護り通して
あげますから、私を支えにして、この人
生を力一杯歩みなさい」と仰って下さる
のです。

そんな阿弥陀さまのお心（願い）に包

まれてあることを知る時、「ありがたい
ことです。もったいないことです」と、
ただただお礼を申し上げる以外ありませ
ん。これが「領収書参り」です。

雨の日も風の日も、辛くても苦しくて
も決して言い訳をせず文句を言わず、自
らの人生は自らの責任において果たして
いく。しかも納得して喜んで果たしてい
く・・・これが仏法の道理（縁起の道理）
にかなつた生き方であり、お念仏の教え
の説くところであります。





別離の年の出来事 2020年(令和2年)年回表

身近な人を亡くされた年には、どんな出来事があったでしょうか？改めて振り返ってみましょう。亡くなってから1年目の法事は1周忌、2年目は3回忌、6年目は7回忌、12年目は13回忌となっていくます。お法事は亡き人を偲びつつ、この私が仏縁に遭わせて頂くための大切な仏事です。

1周忌 平成31年 令和元年 (2019)	「新元号 令和」 4月老人池袋暴走事故。 5月元号が令和に。 7月京都7-11放火殺人。 8月全英女子ゴルフで20歳の渋野日向子優勝。 9月北日本中心に水害多発。ラグビーW杯日本で開催。10月首里城消失。
3回忌 平成30年 (2018)	「本庶佑氏ノーベル医学生理学賞受賞」 6月歴史上初の米朝首脳会談 7月オウム真理教の死刑囚らに死刑執行。 9月大阪なおみ全米オープン女子シングルスで日本人初の優勝。 10月筑地市場が豊洲市場に移転。
7回忌 平成26年 (2014)	「消費税8%に」 1月海上自衛艦「おおすみ」が釣り船と衝突。 6月富岡製糸場ユネスコ世界文化遺産登録。 8月エボラ出血熱国際衛生上の緊急事態に。 10月赤崎勇、天野浩、中村修二の3氏にノーベル物理学賞を受賞。
13回忌 平成20年 (2008)	「北京五輪」 1月橋本徹氏大阪府知事に就任。 8月北京五輪開催。女子ソフトボール金メダル。 陸上男子400mリレーで銅メダル獲得。 9月麻生内閣発足。 11月元厚生省事務次官宅続けて襲撃される。
17回忌 平成16年 (2004)	「イチロー安打大記録」 2月自衛隊イラク派遣。 8月福井美浜原発事故、5人死亡。 アテネ五輪開催。日本史上最多37個のメダル獲得。 9月新潟中越地方に震度7の大地震発生。 11月米大統領ブッシュ再選。
25回忌 平成8年 (1996)	「渥美清亡くなる」3月北海道豊浜トンネル崩落事故。 5月オウム真理教麻原彰晃出廷。 7月大阪を中心にO-157集団食中毒発生。 8月アトランタオリンピック開催。12月長野県で土石流発生。14人死亡。
33回忌 昭和63年 (1988)	「瀬戸大橋開通」 3月青函トンネル開通。中国へ修学旅行中の高知学芸高校の生徒列車事故で27人死亡。 7月リクルート事件、江副会長辞任。 8月ソウルオリンピック開催。10月藤の木古墳発掘。
50回忌 昭和46年 (1971)	「沖縄返還協定調印」 1月日航世界経済フォーラム(WEF)設立。 7月自衛隊機、全日空機と岩手上空で衝突。162人死亡。 5月 ニクソンショックで一時的に金とドルの交換停止。 12月東京で爆破事件続発。

「新春法座」開催！



さる1月9日（木）、藤田徹文先生（備後教区・光徳寺）をお招きして新春法座を開催致しました。

今回は、礼讃文の一節「人身^{にんじん}受け難^{がた}し、今すでに受く。仏法^{ぶつぽう}聞き難^{がた}し、今すでに聞く。この身今生^{こんじょう}に向かって（おいて）度^どせずんば、さらにいずれの生^{しょう}に向かってかこの身を度せん」についてお話を頂きました。

【講演主旨】

讃題（礼讃文）の意味は、「人間に生まれるという事は極めて難^{むずか}しいことであるが、今生まれることが出来た。仏さまの教えを聞く事はさらに難^{むずか}しいことであるが、今聞かせてもらうことが出来た。だから、この人間世界に身をおいている今、浄土に生まれる道（迷いを脱する道）を見つけなければ、永遠に迷いの世界から抜け出すことは出来ない。今こそ、その道を見つけるチャンスなんだ」ということです。

人間に生まれるということは、「宝くじ」で一億円の当選を連続100万回するのに匹敵するほどの確率だと言われています。そのくらい人間に生まれることは難しいのです。ところがそんな幸運に恵まれていながら「人間に生まれて有難いな」と思いながら生きていく人はあまりいません。何故でしょうか。それは私達の欲望に際限がないから、求めるものを一つ手に入れても、すぐに新たな欲が生まれ、どこまでいっても満足感というものが得られないのです。その結果、不平不満の日々を繰り返し、感謝の日暮らしができなくなっているのです。じゃあ、どうすればいいのか。

それは「足るを知る」という生き方をする以外ありません。「知足常楽^{ちそくじょうらく}」という言葉があります。足るを知ることによって常に楽に生きることが出来るということです。

ここで言う「楽」は「自在に生きる」ということです。どんな状況にあろうとも、何ものにも束縛されずに精一杯生きていける・・・それが自在に生きるということです。

よく年をとってきますと、何をするにも動作が緩慢^{かんまん}になり、「若い時は良かった。若い時は良かった」と愚痴をこぼします。そうかといって若い時に「若いということはありがたいなあ」と喜んで生きておったわけでもありません。当り前のように生きておったはずです。あるいは健康な時に「健康はありがたいなあ」とは中々思いません。病気になって初めて「ああ健康はありがたいなあ」と気づくのです。

つまり、我々はその時その時を本当に喜んで生きてはいないのです。知足で大事なことは「今を喜んで生きる」ということです。私たちは何年生きても生きられるのはいつも「今」です。ですから「今」が抜けてしまうと生きるということは成り立たないのです。「あの時はよかった」「そのうち良いことがあるだろう」という生き方からは知足常楽の人生は生まれません。今を喜んで生きる・・・これが知足常楽の人生であり、迷いを解脱する道であります。

趣味の広場



俳句を楽しむ(八十二)

森本隆を

雑事雑用に取り紛れうかうかと日暮らしを続けるうちに年も改まり、はや一月も過ぎてしまいました。暦の上では2月4日が立春、もう季節は春ですね。今年も「光明寺だより」紙上でのお付き合いをよろしくお願い申し上げます。さて、私こと約一年前から、縁あってある小さい勉強会に通っています。私も浄土真宗門徒必携の経本である『聖典』の略註本をテキストとした勉強会で、月に一度、約三時間余りの学習ですがこれがなんと難しい。宗派を問わず世のお寺さん方はこの様な難しい学問を積んでこられたのかと思うと、頭の下がる思いです。そんな厳しい学問や修行を重ねた僧侶の方々の中にも俳句を好み、佳句を詠み遺した多くの人がおられます。今回はそういった僧職にしてみたいと思います。

春愁の飽くこともなく念仏かな

高岡智照尼

春の水ゆるく流れ来てはやし

河野静雲

うららかや仏土の草の花に満つ

喜谷六花

一句目は京都嵯峨野の祇王寺を守った尼僧のまだ若い時期の、まだ仏門に入らぬ身で詠んだ句だそうですが、もう既に心は仏に向かっている句です。二句目の作者は九州太宰府の近くの花鳥山仏心寺をみずから創建した人で俳誌「冬野」の主筆でもありました。中央俳壇に心を向けず、九州の代表的俳人として活躍、句も仏教色が濃い訳でなく、人事や自然を多く詠んでいます。三句目の作者は東京梅林寺の住職を長く勤めた禅僧です。終生、僧として俳人として真面目を通じたそうです。作品は、しなやかに言葉を使い、身の回りの事がらをテーマに実感に富んだ句を詠んでいます。

人の一生いつも木の芽のふくやうに

松野 自得

御仏は大地におわす八重桜

自得

桜保存の事もこまごま言ひ置きぬ

森田雷死丸

春月とうなづきあつて笑ひけり

大谷句仏

あかときの花に鐘撞く生死あり

尾崎迷堂

以上の四人はとりわけ仏教の道に熱心で俳句作品も仏教色の強く表われている特徴がはつきりしています。一句目の作者自得は瀬戸田の耕三寺の創建を強く勧めたことで有名で、後年前橋市の最善寺の住職となりました。

二句目の雷死丸は松山市の宝珠院常福寺の住職でしたが、境内の桜大樹を枯らさぬよう臨

終の床でも気にし、先にあげた句を詠んで辞

世とした風流の僧侶です。また、紛争と対立

のくり返しの中で宗門のトップを務めた句仏

さん、仏道修行を重んじて鐘をつくのも修行だとして励み句に詠んだ迷堂、どちらも僧でなければ詠めぬ句を多く詠んでいます。僧侶の詠んだ句、といってもやはり人それぞれで、

猫の恋涅槃の月の欠けてより

名和三幹竹 八幡城太郎

三幹竹という人は「宗教は理想に、俳句は

現実に。ともに真剣に、力いっぱい」と言っ

たくらい俳句に熱心だったそうです。城太郎

さんのもっと心をやわらかく持った人のよう

です。東京青柳寺の住職で、日蓮宗内では要

職にも就いたが俳句の方も新興俳句運動に熱

心だったらしく

すすき野のかげのあなたのあなたの陽

といった近代的で文学的な句を詠んでいます。

僧侶にして俳人であった人々の中のごく一部

ですが取り上げてみました。この原稿の内容

は、村上護氏『仏心の俳句』によるものです。

これからは日いち日と春らしくなっていく、

良い季節に向かいます。毎日が良き日であり

ますように。



位職書作品



【字句】

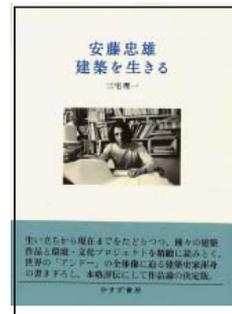
洒々落落
しやしらくらく

【意味】

いかなるものにもこだわらず、超然として執着せず、自由自在であること。

『安藤忠雄 建築を生きる』

BOOK 本



発行所 房
著者 三宅理一
定価 3000円 + 税

今や何百という単位で世界中に建築作品が作られ、直島やヴェネチアなど建築めぐりが出来るスケールにまで広がった安藤忠雄氏の生い立ちから現在に至る建築歴を土地や人との関わり方を軸に論じたものです。世界の「アンドー」の全体像に迫る建築史家・三宅理一氏の渾身の書き下ろし作品です。

本書は21章で構成されており、第8章「宗教空間の洞察」では光明寺のことも紹介されています。また随所に建築作品や安藤先生のスケッチが掲載されていますが、第1章「生い立ち」では、安藤先生の生家の写真や幼少時の写真なども掲載されており、安藤ファンならずとも興味を引かれる内容となっております。

おねはん 涅槃会

3月15日(日)

- 第1回目 9時～10時
- 第2回目 11時～12時
- 第3回目 1時～2時

該当のお家にはご案内を差し上げています



言葉のプレゼント

努力は必ず報われる。
もし報われない努力があるのならば
それはまだ努力と呼べない

王貞治

★次回発行予定・・・7月中旬

「光明寺だより」を「ご家族の皆さんで
お読みください」

西条組 仏教婦人研修大会

2020.4.16 木

午後1時～4時



日程

- 13:00 開会行事
- 13:50 法話
- 15:30 閉会行事

講師

天岸 浄圓 師

本願寺派仏教婦人会総連盟講師
行信教校長 西光寺住職

会場

ベルモニー会館 坂井

新居浜市坂井町3丁目5-30 (駐車場有り)

- JR 新居浜駅より南へ500m
- DCM ダイキ新居浜店 西側

★お申込み、お問い合わせは光明寺まで
TEL 53-4583



除夜の鐘



- ★1月9日(木) 藤田徹文先生をお招きして恒例の新春特別法座を開催いたしました。 ★関連記事5ページ
- ★47都道府県を一か所ずつ、その地域の特色を紹介している雑誌が「D&Dパートメント」という会社から出されています。今回、愛媛県を紹介するということになり、同社の記者が光明寺に取材にられました。雑誌は2月中に出版されるそうです。
- ★住職の長男(光)が、よくおもちゃのだんじりで遊びます。長女(心)は4月から神拝小学校の一年生に、二女(美乃莉)は幼稚園の年中さんに進級します。
- ★西条組主催の「仏教婦人大会」が、4月16日(木)ベルモニー会館坂井で行われます。参加ご希望の方はお寺までお問い合わせください。
- ★上図の案内チラシ参照
- ★中国で発生した新型コロナウイルスの感染者が日本でも広がっています。うがい手洗いを励行しましょう。